

# やる気・主体性を高めるフィードバック手法の研究

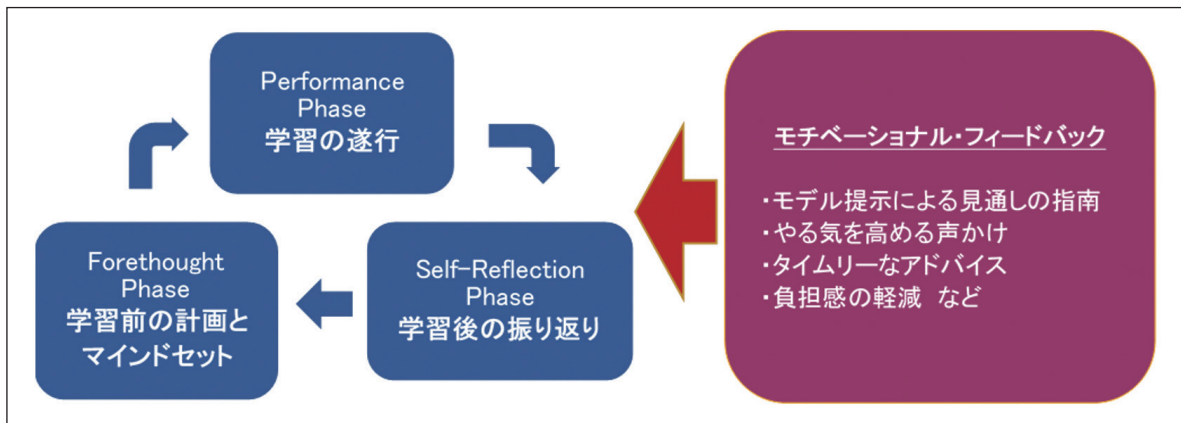
■ 教養力育成センター 教授 土屋 麻衣子

○ 研究分野：教育学

○ キーワード：自己調整、目標設定、モチベーション、意欲減退、フィードバック

## I 研究概要

学習を始めとする諸活動に対して苦手意識を持っていたり、やる気が出ない状況にいたりする学習者から、前向きな気持ち・姿勢を引き出すための手法研究を行っている。キーワードは「自己調整学習」である。「自己調整」は2020年度から始まった新学習指導要領において言及されており、能動的姿勢の育成の鍵として注目されているものである。最終的には、当事者本人が効果や成果に繋がる自己調整を行えるようになることが望ましいが、つまずきや不安、行き詰まりを感じている段階においては、教師など周囲の人物からの外的フィードバックが肝要となる。効果的に自己調整学習を行うためには、「方略」「目標」「自己効力感」の3点が重要で、主にその3点に関する適切なフィードバックが必要である。本研究室では、自己調整力を高めるためのモチベーション・フィードバックの研究を行っている。これまでの実証研究を通して、当該フィードバックがあった学習者は、それがなかった者よりもやる気、行動、成績においてプラスの変化があったことが見出されている。



自己調整学習の3つのフェーズとモチベーション・フィードバック

### ● モチベーション・フィードバックの作用

- ・現時点での自分の状況やスキル、やる気の程度を正しく理解できるようになる
- ・必要な目標と計画を立てることができるようになる
- ・見通しを持ち、負担感を調整できるようになる
- ・振り返りながら、目標達成に向けて計画を進めることができるようになる
- ・自己効力感を感じられるようになる

## I 利点特徴

モチベーション・フィードバックは、苦手意識を持つ物事に学習者が自分でモニタリングし、振り返りながら取り組むことをサポートするものである。当事者のスキルや対象となる物事の難易度により、時間を要する場合もあるが、多くの場合で当事者は目標達成に向けて姿勢やモチベーションを改善させている。

## I 応用分野

- ・小学生～大学生にわたる学習計画指導
- ・企業新人研修等におけるマインドセット・目標設定
- ・苦手分野の克服を目指した研修



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS